

各漁協の取組む増殖行為について

各漁協が取組む増殖行為を、産卵場造成を中心にご紹介します。

【千代川漁協】

○アユ

概要 【令和5年度鳥取県水辺の環境保全協議会栽培漁業センター資料より】

アユ産卵期における対策（千代川の産卵状況）

- ・千代川はアユの産卵に適した河床となっている地点が比較的多い。
- ・近年はアユの遡上数が少ないため、産卵に参加できるまで生き残る個体が少ない傾向。
- ⇒アユの親魚をどれだけ残せるか、が産卵状況を好転させる条件となる。
- R5年は産卵場造成、親魚放流、テグス張りの対策を実施。11月6日に産卵場調査を実施。



・天然放流+テグス
で親魚量は十分

・造成地とそれ以外にも
河床状況は良好

・下流の菖蒲産卵場（非造成）も
2,380㎡と広がった。
⇒合計4,780㎡と記録上は最大

親魚を多数確認でき、産卵場も大きく広がっており、良好な産卵状況であった。

産卵場造成 【公益財団法人豊かな川づくり基金事務局より】

1 日時 令和5年10月18日、20日

2 作業の様子

〈重機作業〉人手がかかる作業の前に2台の重機で整備



〈ボートで資材運搬〉



←資材の運搬が困難な場所への対応

ゴムボートに、木杭や竹など作業に必要な資材等を積み込み、右岸と左岸の作業用ロープを介して運び込んでいた。

〈テグス設置〉



〈作業終了後〉



【天神川漁協】

○アユ

概要 【令和5年度鳥取県水辺の環境保全協議会栽培漁業センター資料より】

アユ産卵期における対策（天神川の産卵状況）

- ・天神川は砂が多く、アユの産卵に適した河床となった地点が少ない状況。
- ・千代川と同様、産卵に参加できるまで生き残る個体が少ない傾向。
- ⇒産卵に適した河床を造成し、アユの親魚を多数残すことが産卵状況を好転させる条件となる
- R5年は親魚放流、発眼卵の設置、テグス張りの対策を実施。11月22日に産卵場調査を実施。



- ・天然 + 放流で親魚量は十分
- ・試験的にアユの卵を設置

親魚は多数確認できたが、河床は砂が多く、まとまった産卵場ができにくい

○溪流魚

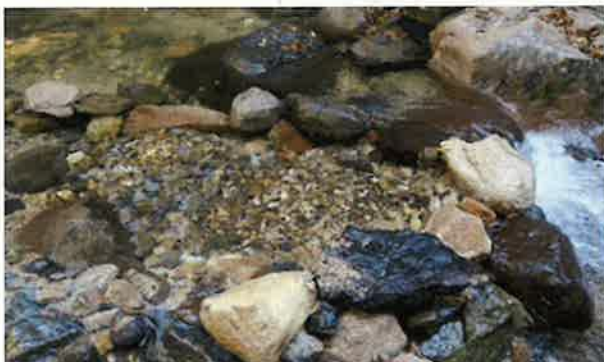
産卵場造成 【天神川漁業協同組合より】

- 1 日時 令和5年10月22日、11月3日
- 2 作業の様子

産卵場造成場所を整備するとともに、必要な石を確保し、産卵に適した形に並べる。
(人頭大の大きなものは確保に苦慮。小さなものは必要な大きさになるようふるいにかける)



「天神川の魚を守る会」の方々と協力して計8か所造成。



【日野川水系漁協】

○アユ

概要 【令和5年度鳥取県水辺の環境保全協議会栽培漁業センター資料より】

アユ産卵期における対策（日野川の産卵状況）

- ・アユの産卵に適した河床が少ないが、日野川漁協主導で大規模な産卵場造成がなされている。
- ・前年からアユの遡上数が回復しており、産卵期まで生き残る個体は比較的多いと考えられる。
- ⇒産卵適期にアユが卵を産みやすい場所をどれだけ確保できるか、が重要になる
- R5年は産卵場造成、親魚放流、テグス張りの対策を実施。11月10日に産卵場調査を実施。



テグス張りと産卵場造成



カワウとサギ類



造成後の河床状況

- ・産卵場造成により河床も改善された



産卵場集まった親魚

- ・テグスで保護され親魚量は十分



R5年: 約570m

R4年: 約800m

- ・調査時は右岸側の流れが弱く、砂が抜けきっていない印象

親魚を多数確認でき、造成箇所は比較的産卵しやすい環境となっていた（昨年並み）

産卵場造成

- 1 日時 令和5年10月15日（事前に重機で作業が行われている）
- 2 作業の様子

たかはし河川調査事務所 高橋先生の指導のもと、関係業者や行政関係約100名の参加で行われた。整備に当たり、組合長より趣旨説明、高橋先生より、事前に行われた重機での整備後の産卵場の様子（既にアユの産卵が行われている状況を確認等）や作業内容について説明があり、思いを一つに作業に当たることができた。）



河川内に関係者がずらりと並び、鍬で小さな砂を流し、産卵に適した川底に整備。その後、カワウ対策としてのテグス張り、テグスへの目印の取り付けが行われた。



【湖山池漁協】

えびを対象とした産卵場造成

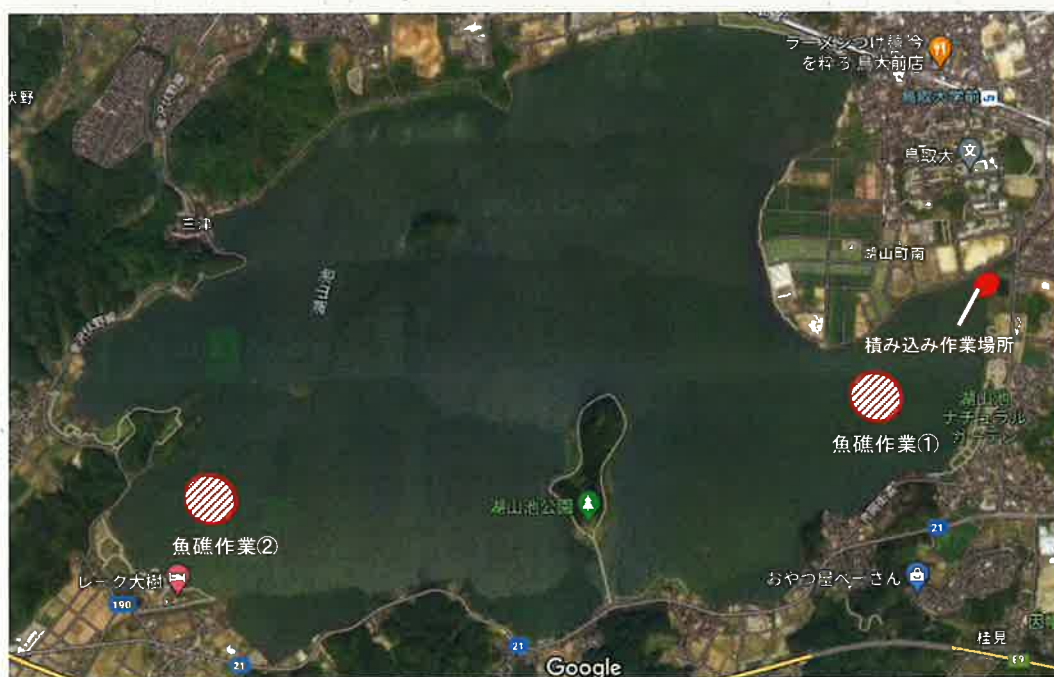
【公益財団法人豊かな川づくり基金事務局より】

- 1 日時 令和5年5月15日
- 2 作業の様子

- ・木の枝を所定の位置に入れるもの。
- ・木の枝は、鳥取市伏野にある建設、工事会社から漁協まで運んでもらっているとのこと。



[作業場所]



ふなを対象とした産卵床造成

【公益財団法人豊かな川づくり基金事務局より】

- 1 日時 令和5年6月2日
- 2 作業の様子

- ・福井川：河口から450m位、・枝川：同180m位、三山口川：同270m位
- ・R4には、多くの卵の付着、産卵を確認。
- ・設置後はゴミや泥が付くため、3日おきくらいにふるい落とし に行く等の維持管理を行っている。



↑きんらん
沈下タイプの人工産卵藻。
何度でも使用可能なため、
毎年度洗って干して使い回し。



[設置場所]



わかさぎを対象とした種苗生産及び産卵床造成

【湖山池漁協より】

(昭和 60 年頃)

発眼卵を設置場所の造成



親魚を人工授精し得た発眼卵を設置



【東郷湖漁協】

えびを対象とした産卵床造成… 1

【公益財団法人豊かな川づくり基金事務局より】

- 1 日時 令和5年3月28日
- 2 作業の様子

近くの竹林から竹をきる。葉はそぎ落とす。竹を船にのせ運ぶ。

折れたところ、間が開いているところなどにさす。



シルバー人材センターから譲り受けた枝木を道路側から池に投げ込む。竹を使って枝木を幅広く広げて産卵場を作る。



※梨の木など農薬を使用する木は使用しない。

しらうおを対象とした産卵床造成… 2

【公益財団法人豊かな川づくり基金事務局より】

- 1 日時 令和5年3月28日
- 2 作業の様子

船を動かしながら長い竹や木に結びつけたじょれんで湖底内を耕うんし、湖内の酸素の供給を促す。



わかさぎを対象とした産卵床造成… 3

【公益財団法人豊かな川づくり基金事務局より】

- 1 日時 令和5年3月28日
- 2 作業の様子 堆積した砂を川全体に広げてならず。ゴミなど障害になるものを取り除く。



【別紙：作業場所一覧】

